

【河川】第5回雄物川圏域流域治水協議会作業部会

「田んぼダム」現地視察を開催しました！

令和4年9月6日
湯沢河川国道事務所

1. 概要

- 本現地視察は、「流域治水プロジェクト」において位置付けられた事業を雄物川圏域内の関係機関で共有し情報交換の場として活用するほか、得られた情報を基に流域内に広く展開して頂き、あらゆる関係者による流域治水の更なる推進・実践していくものであります。
- 第一回目となる現地視察では、秋田県農林部が事業主体となり、地元(土地改良区や美郷町)と協力し取り組んでいる「田んぼダム」について現地視察を行ったものであります。

2. 日時／実施状況

- 日時：令和4年9月6日(火) ➢ 説明会場：美郷町住民活動センター
- 現地視察箇所：「畑屋中央地区」ほ場整備箇所(美郷町安城寺地内)
- 出席者：湯沢市(総合防災室)、東成瀬村(総務課)、林野庁秋田森林管理署、気象庁秋田地方気象台、秋田県仙北地域振興局(保全環境課・地域企画課・農村整備課)、秋田県平鹿地域振興局(地域企画課)、美郷町千畑土地改良区、湯沢河川国道事務所(調査第一課)

計20名参加

- 次第 進行：事務局 湯沢河川国道事務所 調査第一課
- 1. あいさつ(美郷町千畑土地改良区 佐藤理事長)
- 2. 田んぼダム：説明会場
 - 1)「流域治水プロジェクト」における「田んぼダムの位置付け」説明
 - 2)「田んぼダム」事業説明
 - 3)意見交換
- 3. 田んぼダム：現地視察
 - 1)意見交換



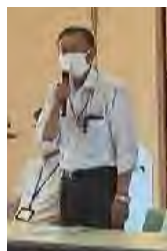
↑説明会場の状況(仙北地域振興局からの田んぼダムの説明)



自動給排水システム



←↑現地視察状況
「スマート田んぼダム」の
自動給排水システム視察
スマートフォンより操作指示
も可能



佐藤理事長

あいさつ

- ・洪水になると丸子川や福部内川からの影響により、(用排水路等から水が溢れ、下流地区の農家から、(水田からの)排水(抑制)をどうにかならないかという要望があった
- ・多くの(水田からの)排水は丸子川を流れていくため、「たんぼダム」を農家の方と協力し、広めていきたい
- ・地域と協力しながら、「田んぼダム」に協力して頂きたい

説明会場(意見交換)

- ・雄物川の上流域において「田んぼダム」により雨水流出量を低減できれば効果的だと考える
- ・小試験区ではあるが効果が見える



定点カメラ

自動排水システム

↑排水口に設置された機器
※カメラにて排水量(越流水深)を観測



自動給水システム

↑給水口に設置された機器
※近傍箇所水位計を設置